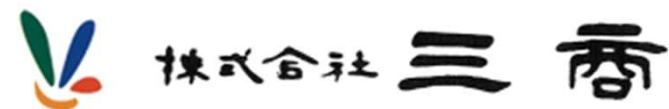
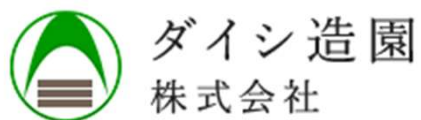


道路区域における農薬除草の 実証実験報告書

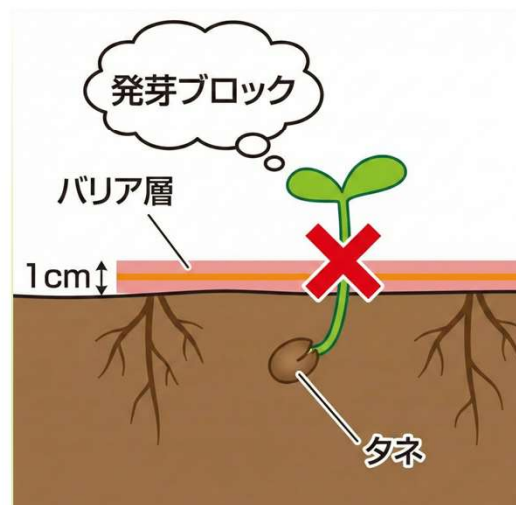
「除草剤」を活用した道路の維持管理について



実証した除草剤に関する新しい技術



新技術とは、今生えている雑草を処理だけではなく
新たに雑草が生えてくるのを長期間ブロックする《土壤表層処理》を採用しました。



実証実験の目的

- 従来の草刈り作業に伴う危険性(飛び石事故、熱中症など)
- すぐに伸びてしまう雑草に対する、長期間の景観維持
- 維持管理コストと労力の削減

実験の実施内容

今生えている雑草を枯らす《芽葉処理》
+
新たな雑草を防ぐ《土壌処理(予防)》



ハイブリット管理手法を採用

実証実験の概要

実証フィールド 川崎市幸区新川崎7番地先
効果の違いを検証するため、一般地と植込地の2地点で実施

期間 自) 令和 7年 4月22日
至) 令和 8年 3月31日

A 一般地

散布前

▶ 5月21日 0日経過



散布後

▶ 1月26日 288日経過



B 植込地

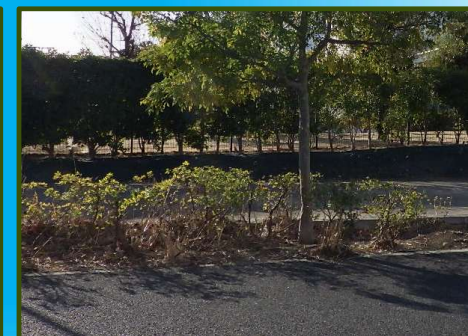
散布前

▶ 5月21日 0日経過



散布後

▶ 1月26日 288日経過



実験情報と経過 A 一般地

発生雑草種

- ・セイタカアワダチソウ
- ・チガヤ
- ・ヘクソカズラ
- ・ブタクサ



使用機材

マキタ背負式バッテリー散布機

使用材料

- ・ラウンドアップMR
0.100 L (希釈倍率 100倍)
 - ・エスプラネードライトフロアブル
0.015 L (希釈倍率 0.15ml/m²倍)
- 使用水量 10.0 L
散布面積 100m²



5月21日 0日経過

1回目 除草剤散布
晴れ 風速 0m



10月20日 152日経過

1回目 モニタリング
2回目 除草剤散布
晴れ 風速 0m
効果 **大** 実用性 **大**
枯れ残った雑草 **確認されず**



1月26日 288日経過

2回目 モニタリング
効果 **大** 実用性 **大**
枯れ残った雑草 **確認されず**

実験情報と経過 B 植込地

発生雑草種

- ・セイタカアワダチソウ
- ・チガヤ
- ・ノボロギク
- ・アキノノゲシ
- ・ヘクソカズラ
- ・コセンダングサ
- ・ブタクサ



使用機材

マキタ背負式バッテリー散布機

使用材料

- ・ラウンドアップMR
0.100 L (希釈倍率 100倍)
 - ・エスプラネードライトフロアブル
0.015 L (希釈倍率 0.15ml/m²倍)
 - ・ナインG
0.015 L (希釈倍率 0.15ml/m²倍)
- 使用水量 10.0 L
散布面積 100m²



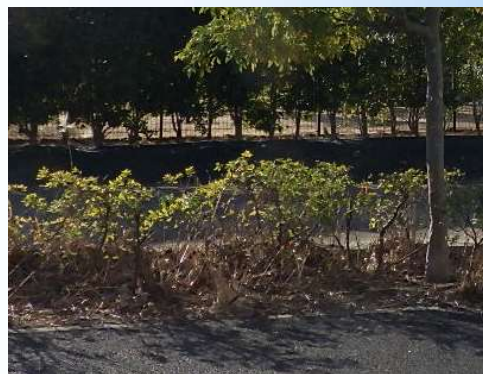
5月21日 0日経過

1回目 除草剤散布
晴れ 風速 0m



10月20日 152日経過

1回目 モニタリング
2回目 除草剤散布
晴れ 風速 0m
効果 **大** 実用性 **大**
枯れ残った雑草 **確認されず**



1月26日 288日経過

2回目 モニタリング
効果 **大** 実用性 **大**
枯れ残った雑草 **確認されず**

実証実験の結果



一般地・植込地の双方で大きな差は見られず、いずれも高い除草効果が確認できました



5月に1回目の散布を実施 通常であれば草が伸び放題になる8月(真夏)でも効果が持続
夏場における熱中症リスクの減少



10月に2回目の散布を実施 年間を通じて「刈取り作業の省略」を目指せることを確認
散布作業によるCo2の削減
効率性向上による人件費の削減



植込みの中に生える雑草のみを抑制し、植栽されている低木(ツツジなど)には
影響がないことを検証しました



実験の結果、樹木は新芽が芽吹き、健全に成育していることが確認されました

使用した薬剤の安全性について

- 今回使用した薬剤は「普通物」に分類され、劇物や毒物ではありません。
- その成分の急性毒性は、身近な「食塩」よりも低いことがデータで示されています。
- 土壌の表面に留まる性質があり、雨などで流出しにくい環境に配慮した設計です。



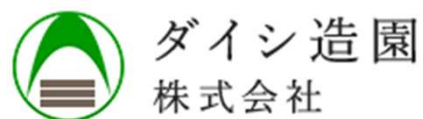
「除草剤」を活用した道路の維持管理のまとめ

- ・安全向上: 飛び石事故や作業中の事故リスクを低減。
夏場における、作業短縮により熱中症リスクの低減。
- ・環境美化: 「伸びてから刈る」のではなく「生やさない」ことで、常にきれいな景観を維持。
機械除草から除草剤の散布作業によるCO₂の低減。
- ・効率化: 年数回の草刈りを、年1~2回の薬剤散布することで、将来の労働力不足に対応。
効率性の向上による人件費の削減。

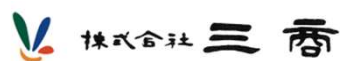
実証フィールドの提供



株式会社 KEIHIN
〒210-0837 神奈川県川崎市川崎区渡田3-17-7
TEL:044-333-8867
Mail:info@keihin1982.co.jp
Web:https://keihin1982.co.jp/



ダイシ造園 株式会社
〒210-0823 神奈川県川崎市川崎区江川1-10-9
TEL: 044-288-2059
Mail:sekine@daishizouen.co.jp
Web:http://www.daishizouen.co.jp/



株式会社 三商
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-6
TEL: 03-3669-6331
Mail:sansho-honsha@sansho.ecnet.jp
Web:https://www.sansho-green.co.jp/